



医療法人伯鳳会
大阪中央病院

「虹」

Vol.10

2022.7月



特集

病院の表と裏

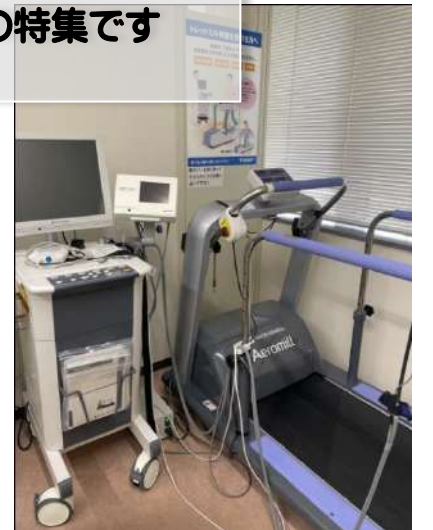
無機質の調律から極限の人のぬくもりまで

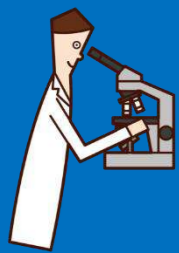


病院の中には、ほとんどが機械化された部署もあれば、

すべてが人の手でないと無理な部署もあります

今回はこの両極の**中央検査室**と**リハビリテーション科**の特集です





中央検査部

Medical Technologist

中央検査部には約40名の臨床検査技師が所属し、病院・健診センター内での検査に従事しています。病気の診断や経過観察、治療効果の判定、病気の早期発見などのために血液検査や心電図検査などの検査を担当しています。

中央検査部では、各学会から認定された技師も在籍しており、オンコールによる24時間体制で夜間や休日にも検査データを提供しています。認定資格取得（超音波検査士・緊急検査士など）を目指し、専門的で高度な技術を身につけ質の高い検査が行えるよう日々努力しています。



PCR検査

全自動遺伝子解析装置での新型コロナウイルス感染症のPCR検査を実施しています。当日中に結果報告可能です。

検体検査

- 血液検査：貧血や炎症の指標となる赤血球数、白血球数や種類、止血機能を知る凝固検査など測定します
- 生化学検査：血液に含まれる酵素・脂質成分や蛋白質分解産物等、約40項目を測定します
- 免疫検査：感染症や腫瘍マーカー、インスリン、甲状腺ホルモン等を測定します
- 一般検査：尿定性・尿沈渣による腎・尿路系スクリーニング検査、便潜血反応にて下部消化管から出血する病変の早期発見を目的とします
- 輸血検査：血液型・不規則抗体スクリーニング、輸血時の交差適合試験を行います

病理検査

- 細胞診検査：炎症細胞や異型細胞を顕微鏡下で検査し、診断の補助的役割を担います
- 病理組織検査：検査や手術で採取された組織の病変部を標本作成し病理医が診断します

生理検査

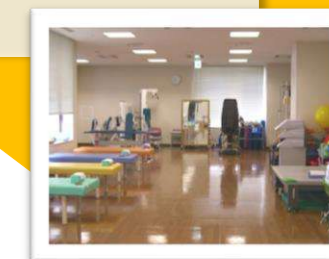
- 心電図検査：心臓の拍動に伴って生じる電氣的活動を体表面からの波形として記録します。(安静時心電図・負荷心電図・トレッドミル運動負荷心電図・24時間ホルター心電図)
 - 超音波検査：超音波の反射を利用して、体内の臓器の形や動きなどを観察します。痛みもなく無侵襲な検査です。(心臓・頸動脈・四肢血管・腹部・体表(乳腺・甲状腺))
 - 24時間血圧測定：夜間就寝中の血圧、降圧薬服薬時間の調整などに有用です
 - 血圧脈波：四肢の血圧を測定、動脈硬化の判定
 - 呼吸機能検査：肺活量・努力性肺活量を測定します
 - 皮膚還流圧測定 SPP：皮膚の微小循環血流を評価可能
- 基本的には予約検査として行っていますが、紹介患者様や健診から精査目的で来院された方など、担当医が必要と判断した場合は当日申し込みにも対応しています。

当院リハビリテーション科の特色

患者さんが社会生活に復帰するために、主治医、看護師をはじめ他職種と連携を取りながら、個々の目標に合わせてリハビリテーションを計画的、効果的に進めています。退院後もリハビリテーションが必要な患者さんには、外来で引き続きリハビリテーションを行っています。

主な対象疾患

変形性膝関節症、変形性股関節症、半月板損傷、前十字靭帯損傷、拘縮肩、腱板損傷、骨折(胸・腰椎圧迫骨折、上・下肢の骨折)、アキレス腱断裂、運動器不安定症、呼吸器疾患(閉塞性肺疾患、拘束性肺疾患)等



リハビリテーション科

Physical Therapist

特色① 人工関節置換術(膝関節・股関節・肩関節)の充実した術後リハビリテーション

術前の身体機能評価を基に術後リハビリテーションメニューを作成し、柔軟性や筋力・筋持久力の向上に努め、安定した歩行能力を獲得するためのトレーニングを行います。Honda 歩行アシストによるロボットリハビリテーションを実施し、正しく歩く感覚を思い出して頂くために使用しています。今年5月より人工肩関節置換術の手術も始まり、クリニカルパスを軸にリハビリを実施しています。また家庭復帰に向けて日常生活動作能力の改善に努めています。

特色② 前十字靭帯再建術後の包括的なリハビリテーション

スポーツ復帰に向けて、競技特性に応じたトレーニングの指導、ウエイトトレーニングマシンやピラティス専用器具を使用した患部外トレーニング、及び再受傷予防プログラムを行っています(The 11+の指導、各種バランス器具によるバランストレーニング)。安心してスポーツ復帰ができるようにサポートします。

リハビリテーション科では、術後の機能回復のみならず、精神面でも患者さんに寄り添い、サポートできるよう日々努めています。リハビリテーションを受ける際は、一緒に頑張っていきましょう。



「正しく歩く感覚」を体感できるロボットリハビリテーション

当院では、人工関節術後のリハビリテーションで Honda 歩行アシストによるロボットリハビリテーションを実施しています。Honda 歩行アシストは、「倒立振り子モデル」に基づく効率的な歩行をサポートする歩行訓練機器です。歩行時の股関節の動きを左右のモータに内蔵された角度センサで検知し、制御コンピューターがモータを駆動することで股関節の屈曲による下肢の振り出しと伸展による下肢の蹴り出しの誘導を行い、効率的な歩行をサポートします。

当院では 2020 年 3 月から Honda 歩行アシストを導入し、長期間の変形性関節症の罹患による筋力が低下の影響で歩行バランスが悪く、歩くと疲れやすいといった訴えのある患者さんに「正しく歩く感覚」を思い出していただくために役立てています。

また、手術前後に歩行テストを行い、歩行時の左右対称性、可動範囲（歩幅）や歩行速度などを計測し患者様と共有しています。歩行状態の数値データ化により目に見える形で歩行機能の回復を感じられるので、患者さんのリハビリテーションに対するモチベーション向上にもつながっていると思います。



リハビリテーション科部長 坪田 次郎

編集後記

医療現場も機械化が進んできています。中央検査室に足を踏み入れると、最新の工場を連想させる光景です。一方リハビリテーションはそれぞれの患者様にあわせてスタッフが人手で対応します。ただ、機械をコントロールするのは人ですし、超音波検査などは人の経験が必要です。根本は人ですので、今後も優秀な人材となれるように自己研鑽を積んで参ります。

病院レポート 「虹」

2022 年 7 月発行 Vol.10

編集・発行

医療法人伯鳳会大阪中央病院

広報委員会

〒530-0001 大阪市北区梅田 3-3-30

TEL 06-4795-5505 (代表)

FAX 06-4795-5544

◆地域連携・入退院支援センター

TEL 06-4795-5533 (直通)

FAX 06-4795-5535 (専用)



その車は、走る病院。

災害医療車「Medical-ConneX」メディカル・コネクス

医療法人 伯鳳会がコンセプトを描き、第一号車を導入した災害医療対応のモビリティ・ソリューション。

世界初(※)の免疫・生化学検査機器とCTを同時搭載し、COVID-19などの感染症にも対応が可能。

検査車両と電源車両からなり、水やエネルギーの外部補給も不要。AI診断とITを駆使し、災害医療支援を即座に展開する。



※CT装置と生化学・免疫装置を同時搭載した移動型医療ソリューション。シーメンスヘルスケア調べ

医療をつなぎ、未来をつなぐ。多くの命を救うために。



伯鳳会グループ
HAKUHOKAI GROUP



私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



Plus Heart Action



病院ホームページ

#青いハートがあふれる社会を



医療法人伯鳳会
大阪中央病院

HAKUHOKAI Osaka Central Hospital